学校番号	315

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新図説家庭基礎（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の生き方や社会とのかかわりについて理解を深めます。多様な考え方を学び、グローバルな視点で生活を見直す力を習得し、変動する社会情勢の中を生き抜く力を養いましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察、 ワークシートの記述、 実習記録、 レポート、 発表、 自己評価 等	ワークシートの記述、 実習記録、 レポート、 発表 、 定期考査の結果、 自己評価・相互評価等	学習状況の観察、 ワークシートの記述、 レポート、 発表 、 定期考査、 実技テストの結果、 自己評価・相互評価等	学習状況の観察、 ノートやワークシートの記述、 実習記録、 観察記録、 レポート、 発表、 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	自分らしい生き方と家族	家庭科を学ぶにあたって 1　ライフステージについて 2　自立について 3　職業観について 4　結婚観について 5　青年期の生き方について考える	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:　自分の適性について考え，近い将来の職業選択へ道筋を考えることができる。また，青年期の課題である生活的・経済的・精神的・性的自立について理解，自覚できる。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d:　各ライフステージごとの発達課題について理解し，それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントと関連させて理解することができる。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査
5月		6　家族について	○	○	○	○	a:家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:　家族・家庭の意義や機能，時代と共に変化する家族の形や機能について理解し，現代の家族にかかわる課題についても社会的な事象を考えながら理解することができる。 c:事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d:　世帯構成や世帯人員のグラフから，時代とともに変化している状況を理解し，それに伴い，家族に関する課題も生じていることなどを理解する。また，社会的支援があることも理解する。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査

6月・	衣生活をつくる	1　被服について 2　被服実習	○ ○	○	○ ○	○	a:基礎縫いの確認のための実習や、被服管理などに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:衣服素材の保湿性や通気性などのさまざまな特徴を知り，どのような素材がどのような性質を持つのかを理解でき，自分の衣生活に活用できる。 c:材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、日常着の修繕など、管理に必要な縫製技術を身につけている。 d:繊維の改質や加工により，付加価値がつき，現在の私たちの衣生活に浸透していることが理解できる。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 製作計画 実習ﾚﾎﾟｰﾄ 製作物 定期考査
7月	子どもと共に育つ	1　保育について 2　子供の成長について 3　遊びについて	 ○	○ ○	○ ○	○	a:遊びの意義と形態を理解し，遊びは子どもの発達にとって重要なものであることを理解する。また，現代の遊びをめぐる問題についても理解することができる。 b:子どもの人間形成には，保育者とのかかわり，まわりの人とのかかわりが重要であることが理解できる。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:　生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。また子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 観察記録表 定期考査
8月		・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価

9月	高齢者とかかわる	1　高齢者の生活 2　豊かな高齢期を迎えるしくみ	○	○ ○	○	○ ○	a:高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について自分の身近な課題としてとらえ、積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。 b:高齢期に関する制度，特に介護保険についてなぜこのような制度が必要なのかを理解し，また，高齢社会を社会全体で支えるしくみを理解することができる。 c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d: 高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 定期考査
10月・11月	食生活をつくる	1　自分たちの食生活について 2　五大栄養素について 3　食中毒について 調理実習２回	○	○ ○	 ○	○ ○ ○	a:自分の現在の食生活を振り返り，課題を見つけ，改善にむけて積極的に取り組もうとしている。 b:栄養の機能と食品のかかわりや、食品の特性と調理との関係について、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりにおける判断ができる。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 実習計画 実習ﾚﾎﾟｰﾄ 実技テスト 定期考査

１２月	住生活をつくる	１　住生活について ２　住生活の計画と選択	○	○ ○	○ ○	○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 実習ﾚﾎﾟｰﾄ 定期考査
１２月		・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価

1月	社会とかかわる	地域と防災	○	○	○	○	a:社会の一員としての自覚を持ち、ボランティア活動や支え合う活動への興味・関心を持って、調査・参加しようとしている。 b:共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c:支え合う社会とは何かを主体的に考え、社会福祉についての考えをまとめることができる。また、社会において自分のできることは何かを導き出すことができ、それを支えあいの活動などの実践に生かすことができる。 d:共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価 定期考査
2月	消費者として自立する	1　多様化する販売方法と問題商法 2　多様化する支払い方法 3　消費者の権利と責任 4　SDGｓを考える 5　消費者として自立する	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	a:自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費行動について、さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。